

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
※帰国後2週間以内に提出（送信）してください。
※津田塾大学海外留学（派遣・受入）奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	淡江大学	氏名	
国名	台湾	学籍番号	
留学期間	2024 年 9 月 ～ 2025 年 6 月	記入年月日	2025 年 7 月 20 日

1	履修したすべての科目についてお書きください			
	主な専攻分野： 国際政治経済			
	科目名	初級華語聽說(二)	科目名	初級華語聽說(三)
	授業内容	週2回夜の時間帯に行われる中国語の授業。教科書をみんなで進めていく形です。グループでの会話練習やスマートフォンを使った単語のクイズなどをする時間もあります。宿題は教科書で習った文法を使って例文を作ったり、それらを音読して録音するといったものです。学期の初めに中国語のレベルテストを受けて、クラスが決まります。初回を受講して簡単な宿題をこなすと感じたら他のクラスに移動することができます。	授業内容	週2回夜の時間帯に行われる中国語の授業。教科書をみんなで進めていく形の授業ですが、(二)よりもレベルの高い単語と文法を扱います。また副教材として動画を見たり、教科書に関連した中国語のサイトを見たりします。(例えば家を借りるという文章を教科書で読んだときは、台湾の物件サイトを紹介してくださいました)中間と期末試験では中国語での短いプレゼンが課されました。
	授業形式	講義、グループでの会話練習が半々程度(2hx週2)	授業形式	講義が中心(2hx週2)
	単位数	2	単位数	2
	サイズ	40人弱	サイズ	20人弱
	難易度 Course No.	易しい	難易度 Course No.	普通
	宿題の量	少ない	宿題の量	ほとんどない
	コメント	授業言語は中国語ですが、先生がすごく分かりやすく話してくださいます。留学生のみが受講する授業なので、他の留学生と交流する場としても機能していました。実際に私もこの授業を通して仲良くなった友人がいます。本来は初級華語聽說(三)のクラスに振り分けられましたが、語学力向上のため中国語の授業をなるべく多く受講したかったので、一つ下の(二)の授業にも参加していました。	コメント	この授業は交換留学生以外に、正規留学生も何名か履修をしていて、学生のレベルが全体的に高いと感じました。授業言語は中国語で、試験の説明も全て中国語で行われたので周りの受講生と助け合って内容を確認し合っていました。
	科目名	跨文化溝通	科目名	東北亞政經發展
	授業内容	全英語授課です。さまざまな国や地域の文化指数の違いを学び、どのようにビジネスマネジメントに適用できるかを学びます。中間・期末試験は授業内で扱った内容についての長文記述試験だったので、準備が大変でした。グループワークが重視される授業で、グループへの貢献度や個人の発言回数が成績に大きく反映されます。	授業内容	全英語授課です。主に台湾を基点として、東北アジアの国際関係について学ぶ授業です。履修当時に授業を担当されていた教授がアメリカ在住経験があるということで、アジア諸国とアメリカの政治的関係についても学ぶ機会が多かったです。前半1時間は講義を聞き、後半1時間はグループワークと各グループ代表者一名による数分間の意見発表が行われます。中間ではレポート、期末ではプレゼンを行いました。
	授業形式	講義、グループワーク、クラス内での意見発表(2hx週1)	授業形式	講義、グループワーク、クラス内での意見発表(2hx週1)
	単位数	2	単位数	2
	サイズ	100人以上	サイズ	40人程度
	難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	やや難しい
	宿題の量	少ない	宿題の量	ほとんどない
	コメント	人気授業のようで、私が履修申請をした際には120人の履修定員のギリギリまで埋まっている状況でした。英語授業ということに加えてグループワークで意見を主張していかないと成績に繋がらないので負担は若干重めですが、留学生が半分以上を占める授業ということもあり、文化圏の違う学生が抱く多様な意見を直接聞くことができるのが魅力的でした。	コメント	グループワークで日本の政治の状況や日本人としての意見を問われることも多く、予習やリサーチが欠かせませんでした。私は津田塾で政治を専攻しているわけではないので専門用語などあまり詳しくない部分もあり、そこに英語が加わることでさらに難しさが増していました。

科目名	台灣經濟發展	科目名	男、女生體育-排球興趣班
授業内容	全英語授課です。台湾における戦後から現在までの経済発展について学びます。台湾製品や台湾企業について説明を受けたり、台湾が経済発展した時代の様子を理解できる映画を見たりしました。課題については、教授から与えられたトピックについて調べ、カメラの前でスピーチをして動画を提出する、という方式が多かったです。台湾で作られた映画を見て考察を書くという課題もありました。	授業内容	中国語で行われるバレーボールの授業です。キャンパス内にあるバレーボールコートに集合してトスやレシーブの練習をしたり、クラス内で試合をしたりしました。期末試験には実技とオンラインでの学科問題があります。
授業形式	講義が中心 (2hx週1)	授業形式	実践 (2hx週1)
単位数	2	単位数	1
サイズ	60人程度	サイズ	30人程度
難易度 Course No.	やや難しい	難易度 Course No.	易しい
宿題の量	少ない	宿題の量	なし
コメント	台湾経済だけでなく、戦後のアジアの経済発展にも触れて学ぶことができ、興味深かったです。トピックに関して動画で話して提出するという課題の方式はレポートを書くよりも時間がかかるので少し大変でした。私の履修当時の教授は出席について少し厳しい印象でした。	コメント	履修登録サイトでは交換留学生は体育の授業を申請できなかったため、自分たちでバレーボールの授業を担当される先生を探し、直接受講の可否を伺いました。私と友人はそのクラスで唯一の留学生たちだったこともあり、クラスメートが興味を持って積極的に話しかけてくれたのがとてもありがたかったです。
科目名	性別與文化	科目名	族群與文化
授業内容	全英語授課です。ジェンダー平等に関する論文、ニュース記事、スピーチ動画などのテキストの精読を予習として行い、授業内でディスカッションを行います。ジェンダーのみならず、人種、セクシュアリティ、階級、などが複雑に絡まった社会的構築を理解し、インターセクショナルリティの基礎を学ぶことができます。ディスカッション後には一人ずつ意見を発表する時間が設けられています。また、毎週のテキストとは別に、各グループまたは個人に1本の論文が指定され、それをもとに約40分間のプレゼンテーションを行う課題もあります。月に1回は対面授業が休講となり、代わりにオンライン課題が与えられ、それについてレポートを提出します。	授業内容	全英語授課です。この授業では人種、民族、文化の多様性に関する内容を学びます。私たちの社会に存在する人種差別や偏見に目を向け、それらがなぜ生まれ、なぜいまだに存在しているのかについて考えます。授業を通して世界における多文化共生の例を知り、台湾における民族の多様性、特に台湾に在住している外国人についても学びます。授業の一環として、全4回の映画鑑賞会とそれに基づく考察レポートがあります。期末試験ではグループプレゼンテーションを行います。
授業形式	ディスカッション、プレゼンテーション	授業形式	講義が中心
単位数	2	単位数	2
サイズ	10人程度	サイズ	70人程度
難易度 Course No.	かなり難しい	難易度 Course No.	普通
宿題の量	多め	宿題の量	普通
コメント	毎回の授業の負担が大きい授業でした。授業内で扱われるテキスト、特に論文は、日本語で読んでも難しい内容が多く、ディスカッションで困らないように予習に多くの時間をかけました。また、約40分間のプレゼンテーションもかなりハイカロリーな課題で、指定された論文を深く読み込んだうえで、自分なりの考察を加える必要がありました。受講生が少人数だったため、毎回の授業で全員に発言の機会があり、プレッシャーを感じる場面も多ありましたが、その分、他の受講生や教授との密なコミュニケーションが可能で、学びの深い授業でもありました。ディスカッションの中では、日本人としての立場や日本におけるジェンダー平等の現状について問われることも多く、津田塾で学んだ知識を活かして自分の意見を伝える機会もありました。負担は大きかったものの、有意義な授業であり、受講して良かったと感じています。	コメント	この授業では、先生が何度かゲストスピーカーを呼んでくださり、お話を聞く機会がありました。特に、台湾で外国人労働者の労働問題に取り組んでいる方の講義はとても印象的で、有意義な時間でした。台湾を通して多文化共生について学ぶことができたことは貴重な経験となりました。この授業はとても人気があって、私が履修登録をしたときにはもう70人の定員が埋まっていました。そのため、サイトをこまめにチェックして、空きが出たタイミングで申請をしてなんとか履修することができました。
科目名	社會學導論	科目名	
授業内容	全英語授課です。この授業では、社会学の基礎的な概念や理論を学びます。社会がどのように構成され、人々の行動や価値観がどのような影響を受けて形成されているのかを理解することを目的としています。各講義では、環境問題、家族、教育、メディアなど、毎回異なる社会問題やテーマが取り上げられ、それぞれに対する社会的な視点や分析の方法を学びます。中間・期末試験の2回、グループプレゼンテーション課題を行います。	授業内容	
授業形式	講義、グループディスカッションが半々程度	授業形式	
単位数	2	単位数	
サイズ	60人程度	サイズ	
難易度 Course No.	やや難しい	難易度 Course No.	
宿題の量	普通	宿題の量	
コメント	成績における出席の比率が高い授業の一つでした。私の履修当時の教授は受講生と積極的にコミュニケーションをとってくださる方で、グループプレゼンテーションの事前指導も熱心に行ってくださいました。	コメント	

2	授業において困ったこと、その解決法について教えてください 1. 履修していた授業の多くでグループワークがあり、留学初期はクラスに知り合いもおらずグループに入れるか不安だった部分がありました。声をかけられるのを待つのではなく、自分から積極的に周りの学生に声をかけてグループを作るようにしていました。幸い、私はとても良いグループメンバーに恵まれました。ただ、英語で行われる授業であっても、自分以外のメンバーの出身地や使用言語が同じ場合、彼らが自分たちの言語で話し始めてしまい、話し合いに参加しづらくなることがあったと友人から聞いたこともあります。そういった点からも、なるべく共通言語が英語や中国語など自分も話せる言葉になるようなメンバーでグループを組むことが大切なのかなと感じました。 2. 私は、ほとんどの授業を英語で受講しました。淡江大学の英語開講の授業には英語が非常に堪能な学生が多く、クラスの約半分を占める留学生はもちろん台湾の学生も海外経験がある人が多く、英語での発言に慣れている印象を受けました。一方で日本でずっと過ごしてきた私にとっては、言語面での苦労が少なからずありました。特にグループディスカッションで、テンポの速いやり取りや即時の意見交換についていくのが難しく、負担を感じる場面が多かったです。そのような中で、次の授業で扱う資料を丁寧に読み込んだり、ディスカッションで使えるような表現や自分の意見をあらかじめ用意しておいたりすることで、少しずつ自信を持って授業に臨めるようになりました。準備の積み重ねが、言語面での不安を軽減してくれたように思います。
3	授業以外の活動についてお書きください 淡江に留学していた津田塾の先輩が教えてくださったVOISという国際交流サークルに所属し、外国語チャットコーナーに参加していました。プロムやハロウィン、クリスマスといったイベントの際にはパーティーも開催されていました。留学生や外国の文化に関心がある台湾の学生と知り合うことができました。また、私はダンスが趣味なので、後期からは台北にあるダンススタジオを探して週1~2回ほど通っていました。中国語で受講するダンスレッスンは新鮮で楽しかったです。交友関係については、留学後半になるにつれて台湾の学生とのつながりが深まり、台湾人の友人グループに自然と混ざって一緒に出かけたり遊んだりする機会が増えました。体感として、台湾の学生は、日本の学生と比べて打ち解けるまでのスピードが早いと感じました。また、学生の多くが大学の寮や近くのアパートに住んでいることもあり、気軽に集まったりご飯を食べに行ったりできる環境だったのも、仲良くなりやすい理由の一つだと思います。
4	寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください 寮(またはアパート、フラット)名とその場所 麗澤国際寮 設備についての簡単な説明 麗澤国際寮はキャンパスの中に位置する寮です。一部屋に4つベッドが設置されています。各階にトイレが4つずつ、シャワーが3つずつ設置されていました。麗澤国際寮では冷蔵庫と洗濯機、乾燥機、小さめの流し場は各階に一つずつ、コンロと電子レンジは男子階(2階)のみに置かれています。鍋やフライパンは共用のものが複数個あります。寮には清掃員の方がほぼ毎日来てくださり、トイレやシャワー、水回りの清掃を行ってくださいました。台湾の大学を舞台にした映像作品に登場するような典型的な学生寮という印象でした。 部屋について 3 人部屋 広さ 16 畳くらい ルームメートについて 寮の割り当ては大学側によって決められており、私は麗澤国際寮に配属されました。この寮には日本人学生が多く、私のルームメイトも全員日本人でした。ルームメイト同士で大きな消灯時間などのルールを話し合って決め、お互いの生活を妨げないように気を配りながら暮らしていました。 寝具や生活用品の入手方法 寝具一式は、淡江の留学生係の方から紹介があったサイトで購入しました。渡航前に注文しておいたので、寮に着いた日に届いて、すぐに使うことができました。生活用品は、寮の近くに大きめのスーパーや金物屋さんがあったので、現地で必要なものを買って揃えるのに困ることはありませんでした。 生活の感想 麗澤国際寮についてですが、国際という名前がついていますが国際色は豊かではないと感じました。私が在籍していた当時は日本人の寮生がとても多かったため、日本以外の留学生や台湾の学生とルームメイトになって日常的に英語や中国語を使いたいと思う学生からすると少し物足りないのかなとも思いました。淡江大学にはキャンパス内にもうひとつ松濤女子寮という寮があるのですが、そちらに住んでいる学生の方がはるかに多いですし、さまざまな出身の学生と暮らせるのは松濤女子寮だと思います。また、麗澤国際寮は男女寮で、一・二階が男子階、三・四階が女子階です。男子が女子階に行くことは禁止されており実際に女子階に男子学生がいるのを見たこともありませんが、どうしても女子だけの寮が良いと思う方は、出願の際に一言添えてみるのもありだと思います。寮の部屋にはほとんど仕切りがなく、ルームメイトから私の様子も全て見えていたのが気を使う部分がありました。私のルームメイトは全員日本人だったので、言語的・文化的な意味でのずれ違いはありませんでした。部屋の点灯・消灯時間も大まかに決めておき、お互い配慮して生活していました。寮の壁が薄めで、他の部屋からの笑い声が夜になっても聞こえてきたり、ということはありませんでしたが、そこまで大きなストレス要因となるものはなかったように思います。もし「ルームメイトと本当に合わない」ということになった場合は部屋を変えることも可能だと聞いたので、大学側に相談してみるのも良いと思います。
5	食事についてコメントを書いてください 大学の周りにはご飯屋さんや本館にたくさんあり、1年間過ごしても全部は行ききれないほどでした。美味しく値段もお手頃な食堂が多く、食事にはとても満足していました。辛い料理については、私自身が辛さに比較的強いということもあるかもしれませんが、「すごく辛いものばかり」という印象はなく、辛さのレベルを調節できるお店も多かったです。また、台湾には朝ごはん屋さんの文化があり、朝6時頃から昼の12時頃まで営業しているお店で、お粥や蛋餅、トーストなどの朝食メニューを扱うことができます。私もよく寮の近くの朝ごはん屋さんで朝食を買って、そのまま授業に向かっていました。ちなみに、淡江大学の時間割には「お昼休み」という区切りがなく、12時からの授業も普通にあるため、多くの学生は講義を受けながらご飯を食べています。

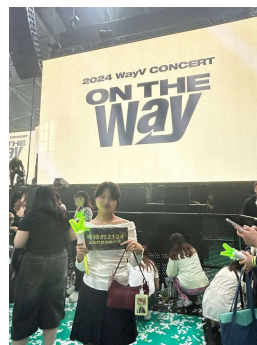
6	医療保険についてお書きください																																																																														
	渡航前に加入した保険																																																																														
	東京海洋日動の海外旅行保険																																																																														
	留学先大学にあった医療保険制度																																																																														
	大学で申し込む保険もあったと思いますが、自分で別の保険に入っていれば加入する必要はありませんでした。																																																																														
7	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)																																																																														
	インフルエンザにかかり、大学近辺にある内科と耳鼻科に行きました。																																																																														
	費用について教えてください(実際にかった費用のみ記入してください)																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">(現地通貨)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>渡航旅費</td> <td>10,000</td> <td></td> <td>49,963 円</td> </tr> <tr> <td>帰国旅費</td> <td>10,000</td> <td></td> <td>49,963 円</td> </tr> <tr> <td>引越し(往復で)</td> <td>0</td> <td></td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>保険</td> <td>60,941</td> <td></td> <td>304,530 円</td> </tr> <tr> <td>語学研修費</td> <td>0</td> <td></td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>留学先学費</td> <td>0</td> <td></td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>本学学費</td> <td>40,023</td> <td></td> <td>200,000 円</td> </tr> <tr> <td>教材費</td> <td>0</td> <td></td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>住居費</td> <td>2,000(deposit)</td> <td></td> <td>9,993 円</td> </tr> <tr> <td>食費</td> <td>98,000</td> <td></td> <td>489,640 円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>交際費</td> <td>20,000</td> <td>99,926 円</td> </tr> <tr> <td>(</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>交通費</td> <td>12,000</td> <td>59,956 円</td> </tr> <tr> <td>/</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(</td> <td>洗濯,エアコン</td> <td>500</td> <td>2,498 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>253,464</td> <td></td> <td>1,266,387 円</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> 換算率 (1 NTD = 4.9 円) </td> </tr> </tbody> </table>			(現地通貨)				渡航旅費	10,000		49,963 円	帰国旅費	10,000		49,963 円	引越し(往復で)	0		円	保険	60,941		304,530 円	語学研修費	0		円	留学先学費	0		円	本学学費	40,023		200,000 円	教材費	0		円	住居費	2,000(deposit)		9,993 円	食費	98,000		489,640 円	その他	交際費	20,000	99,926 円	(					交通費	12,000	59,956 円	/				(	洗濯,エアコン	500	2,498 円					合計	253,464		1,266,387 円	換算率 (1 NTD = 4.9 円)			
	(現地通貨)																																																																														
渡航旅費	10,000		49,963 円																																																																												
帰国旅費	10,000		49,963 円																																																																												
引越し(往復で)	0		円																																																																												
保険	60,941		304,530 円																																																																												
語学研修費	0		円																																																																												
留学先学費	0		円																																																																												
本学学費	40,023		200,000 円																																																																												
教材費	0		円																																																																												
住居費	2,000(deposit)		9,993 円																																																																												
食費	98,000		489,640 円																																																																												
その他	交際費	20,000	99,926 円																																																																												
(																																																																															
	交通費	12,000	59,956 円																																																																												
/																																																																															
(	洗濯,エアコン	500	2,498 円																																																																												
合計	253,464		1,266,387 円																																																																												
換算率 (1 NTD = 4.9 円)																																																																															
受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください																																																																															
なし																																																																															
8	留学前の準備について教えてください																																																																														
	日本から持参すべきもの																																																																														
	1.一年を通して湿度が高いので、クローゼットに置く用、布団の下に敷く用の除湿剤やダニ避け剤 2. 海外利用が可能なカード(ATM引き出しのため) 3. 日本の化粧品や食料品はほとんどが台湾で売られているので、特別気にしているものだけ持ってきて、あとは現地で買うことができますと思います。																																																																														
留学前にしておけばよかったこと																																																																															
上でも触れましたが、自分の持っているキャッシュカードなりデビットカードが台湾のATMで利用可能なのか確認することだと思います。私は台湾のATM対応のカードを持っていかなかったことにより、最初の数ヶ月はATMからお金を下ろすことができず、クレジットカード対応のご飯屋さんでしかご飯が食べられない時期がありました。泣(持ってきた現金をなるべく減らさないためです)なので、海外対応のカードを準備することや万が一カードが使えなかったときのために現金をある程度持っていくのが大事だと思います。ちなみに、台湾でのATM利用なら國泰世華銀行がおすすめです、visaのカードが使えて手数料が無料です。																																																																															

9	適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください 学習面では大学の授業でグループワークがすごく多いことに最初は驚きました。日本の授業と比べて学生同士で話し合ったり協力して課題に取り組む時間が多く、戸惑うこともありましたが、慣れてくるとそのやり取り自体が楽しく、刺激になりました。生活面では、2023年に淡江大学のサマーキャンプに参加していたこともあり、大学の雰囲気や場所、通学手段などはだいたい分かっていて、あまり困ることはありませんでした。台湾と日本は同じアジア圏ということもあって文化的な共通点も多く、違いがあってもそれらを新鮮で面白いと感じるマインドがあれば楽しく生活していけると感じました。
10	留学の成果(学習面・精神面)を教えてください 学習面では、中国語と英語の二つを同時に伸ばすことができました。淡江の国際政治経済学科に留学を決めた理由の一つが、中国語を使って生活をしながら同時に英語で授業が受けられる環境に魅力を感じたからです。実際にその環境で学ぶ中で、自分が留学に期待していた成果をしっかりと得ることができたと感じています。特に論文精読やグループワークを通してアカデミックな英語に触れ、自分の英語力が伸びたと実感することができました。授業はほとんど英語で受講していましたが、台湾人の友人たちとの交流を通して中国語を使う場面も多有りました。最初は英語で話しかけてくれた友人と中国語で会話ができるようになったときは、自分の成長を感じました。台湾に到着したばかりの頃はお店で注文するのも緊張して怖かったのですが、帰国前には自然に話せるようになり、考えなくても中国語が口から出てくるようになっていました。 帰国後に受けたTOEFLではスコアが実際に上がっており、自分の成長を数字でも感じるすることができました。今後は中国語の試験も受験して、現在の実力を客観的に確かめたいと思っています。 また、さまざまな国から来た学生たちと一緒に勉強する中で、その優秀さや勤勉さに刺激を受けました。自分ももっと頑張ろうという気持ちになり、良い影響をたくさん受けたと思います。国際系の分野を、実際に多様なバックグラウンドを持つ学生たちと学ぶことで、視野が広がり、学びもより深いものになりました。 台湾への留学を通して、精神的にも大きな変化がありました。留学前の私は内向的で、他の人が私をどう見ているのか私に何を思っているのかをすごく気にしてしまい、自分に自信が持てず、大学での人間関係にもあまり前向きになれませんでした。そのような自分から成長したくて、台湾での生活が始まってからは人間関係を諦めずにちゃんと向き合おうと決め、自分から人に声をかけたり、友達になろうと積極的に動くようにしました。 そうしてできた友人たちが私を大切に思ってくれていることに気が付けたのは、とても大きな経験でした。台湾の人たちのオープンであたったかい雰囲気を支えられて、私自身ものびのびと自然体で過ごすことができたと感じています。 留学という大きな挑戦をやり遂げたことで、自分自身に対する見方が少し変わりました。慣れない環境で自分なりに工夫して生活し、学び、人間関係も築いていけたこと、自分で選んだ環境の中で前向きに過ごせたことは、今の私の自信につながっています。これから再び始まる津田塾での生活にも、以前と比べて成長した、より良いバージョンの自分で向き合っていけると思います。
11	今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください 1年間の留学を通して、将来的に海外で学び続けたいという気持ちが強まりました。将来の安定のために就職活動をしなればいけないのではないかと思います。海外大学院進学をしたいという気持ちが大きくなっています。特に、多文化共生の分野について、もう一歩踏み込んで学びたいと考えています。津田塾では日本語教員養成課程も履修しているため、将来的には海外で日本語教員として働くことも視野に入れています。今後の学習計画としては、卒業論文の調査と執筆に取り組み予定です。また、中国語試験であるHSK6級の取得を目指して、引き続き語学学習にも力を入れていきたいと考えています。
12	留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします もともと私は、英語圏が中国語圏のどちらかに留学できたらいいなと、漠然と考えていました。一度は別の協定校に留学願書を書いてみたものの、なんとなくしっくりこなくて、最終的には出願を断念していました。そんな中で、たまたま国際センターのサイトを見ていて、台湾の淡江大学にすべて英語で授業が行われる専攻があることに気がつきました。「台湾で英語の授業を受ける」という、自分でも思っていなかった新しい選択肢が生まれた瞬間でした。ちょうどそのタイミングで、淡江大学への追加募集が出ていることにも気づき、そこから一気に校内選考の準備を進めました。今振り返ると、「その人にとって必要な情報やチャンスは、いつも適切なタイミングで巡ってくるものだ」と感じます。 これを読んでいるあなたにとっても、この文章を読んだことがチャンスを掴むタイミングの一つになれば嬉しいです。 留学前は、慣れ親しんだ環境を離れることや語学力、友達づくり、ビザの手続きなど、不安がたくさんありました。特に台湾は英語圏ではないので、大学で中国語を始めたばかりの自分が現地でやっつけられるのか心配でした。しかし、そうした不安を抱えながらも実際に飛び込んだ留学先で、多くの温かい出会いや学びがありました。言葉が完璧でなくても伝えようとする気持ちを受け入れてくれる人たちに支えられ、台湾での生活がとても居心地よく感じられました。 もし少しでも留学に興味があるなら、その気持ちを大切にしてください！チャンスは見つけたときに動き出すことで初めて形になります。迷いながらも、ぜひ一歩踏み出してみてください。応援しています！
13	その他、ご自由に意見を書き込んでください 英語圏などに比べると津田塾から淡江への留学経験者は少なめなので、台湾での生活や授業、ビザのことなどに関する経験談が多くはないかもしれませんが、もし淡江大学への留学が決まったら、淡江に留学担当の方がいるので、わからないことがあったら遠慮なくどんどんメールしてみてくださいね。私ももちろん大歓迎なので、国際センターの方を通して気軽にご連絡ください！

写真を数枚添付していただけると幸いです。(キャプションをつけてください。)



↑ 台北の象山でハイキングをしたときの頂上からの景色です！
台北101がとても綺麗でした。



↑ 応援している歌手の台北公演が留学期間中に開催され、参加することができました！



↑ 十分にて燈籠を飛ばしました。
燈籠の側面にそれぞれが沢山願い事を書きました！



↑ 最寄駅である淡水捷運站へ向かう電車の中から撮った写真です！
淡水はその美しい水辺が有名で、「台湾のヴェネツィア」と呼ぶ人もいます。



↑ 二人の友人が卒業を迎えました！
卒業式ではガウンを羽織るそうですが、
このときは襟の部分のみを着ています！



↑ 淡水捷運站から西に伸びる川沿いの遊歩道で撮った写真です。
水辺から綺麗な夕陽を見ることができます。

夕方のキャンパスの様子です。ー



↑ 中国語の授業にてクリスマスプレゼント交換をしました！